



さいじょう

令和5(2023)年2月1日発行

市議会だより

第78号

特集 令和3年度決算審査報告



みずきの
ええとこ発見!



おいしいやきいも、ありがとう!

～楠河放課後子ども教室でのやきいもの様子～

決算審査報告

令和3年度 決算をチェック!



認定

決算審査とは、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかなどについて、審査するものです。

令和3年度各会計の決算議案4件について、本市議会では、決算審査特別委員会を設置し、令和4年10月4日から10月6日までの3日間で関係箇所の現地調査及び書面審査を行い、12月定例会初日（令和4年11月29日）に、いずれも認定しました。

このページでは、委員会での審査の一部をお知らせします。

ヘリコバクター・ピロリ感染検査事業

問 低迷している受診率に対する見解は？

答 成人は、50歳となる該当者全員に個別通知を行っているが、既に検査済みなどの理由で受診率が低くなっていると推察する。中学2年生は、検査の必要性を保護者に周知するため、各学校を通じて事業内容を説明しており、事業開始以降、受診率が50パーセント台までは順調に上昇したが、それ以上伸びない状況にある。

受診率は、50歳が16.2パーセント、中学2年生が52.8パーセントであり、引き続き受診率の向上に取り組むたい。

地域人材確保支援事業

問 事業の成果は？

答 本事業に取り組んだ結果、コーディネーターによる相談窓口の設置が13件、セミナー・ワークショップの開催が7回、オンライン合同企業説明会の開催では、学生88人、企業20社が参加するなどの実績を上げている。これらの取組により、支援企業31社が、合計で566人を採用するに至っており、地域企業の採用力向上に効果があったと考えている。

電子商品券発行事業

問 事業の評価は？

答 コロナ禍で疲弊した市内経済を活性化させるため実施した事業であるが、電子版の売れ行きが不調であったことから、チェーン店に事業参画を呼びかけ利用拡大を図るとともに、購入対象者を市外のかたへ拡大するなどの対策を講じたものの、最終的な売れ行きは37パーセントにとどまった。不調の要因は、電子版になじみがないことや外食控えに陥っている中で飲食限定券をセット販売したことなどであると認識している。

今後は、今回の結果を踏まえ、要因を更に分析し、地域一体となつての取組を検討していきたい。

人権・同和教育に関する各種学習会及び研修会

問 取組の成果は？

答 市民や学校教育、社会教育関係者向けにさまざまな講座を開講し、受講後のアンケートでは人権を理解し尊重する意識が高まったなどの回答を得ている。また、市民意識調査では、人権意識や部落問題に関する項目の改善が見られることから、成果として、市民の人権意識が高まり部落問題などの人権問題が少しずつ解消傾向にあると認識している。

10月臨時会(10月26日)における議案の審議結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議案第77号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第6回)について	原案可決	議案第78号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決

12月定例会(11月29日～12月19日)における議案などの審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果
議案第62号	令和3年度西条市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	議案第104号	令和4年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2回)について	原案可決
議案第63号	令和3年度西条市水道事業会計決算の認定について		議案第105号	西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	
議案第64号	令和3年度西条市病院事業会計決算の認定について		議案第106号	工事請負契約の締結について	
議案第65号	令和3年度西条市公共下水道事業会計決算の認定について		議案第107号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第10回)について	
議案第79号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第7回)の専決処分について		議案第108号	教育長の任命について	
議案第80号	令和4年度西条市介護保険特別会計補正予算(第3回)の専決処分について	議案第109号	教育委員会委員の任命について		
議案第81号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第8回)について	議案第110号	公平委員会委員の任命について		
議案第82号	令和4年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第2回)について	議案第111号	固定資産評価審査委員会委員の任命について		
議案第83号	令和4年度西条市介護保険特別会計補正予算(第4回)について	議案第112号	固定資産評価審査委員会委員の任命について		
議案第84号	令和4年度西条市土地開発事業特別会計補正予算(第1回)について	議案第113号	固定資産評価審査委員会委員の任命について		
議案第85号	令和4年度西条市本谷温泉事業特別会計補正予算(第1回)について	議案第114号	固定資産評価審査委員会委員の任命について		
議案第86号	令和4年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第1回)について	議案第115号	職員懲戒審査委員会委員の任命について		
議案第87号	令和4年度西条市病院事業会計補正予算(第2号)について	議案第116号	職員懲戒審査委員会委員の任命について		
議案第88号	令和4年度西条市公共下水道事業会計補正予算(第2号)について	議案第117号	職員懲戒審査委員会委員の任命について		
議案第89号	西条市食の創造館の指定管理者の指定について	議案第118号	職員懲戒審査委員会委員の任命について	原案可決	
議案第90号	西条市本谷温泉館の指定管理者の指定について	議案第119号	職員懲戒審査委員会委員の任命について		
議案第91号	西条市立西条郷土博物館及び五百亀記念館の指定管理者の指定について	議案第120号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第92号	字の新設及び小字の廃止について	議案第121号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第93号	西条市個人情報の保護に関する法律施行条例について	議案第122号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第94号	西条市公共施設再編整備基金条例について	議案第123号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第95号	西条市土地開発基金条例の一部を改正する条例について	議案第124号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第96号	西条市特別会計条例の一部を改正する条例について	議案第125号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第97号	西条市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について	議案第126号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		
議案第98号	西条市議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	報告第22号	市道横黒中1号線の道路陥没箇所における負傷事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定の専決処分について		報告聴取
議案第99号	西条市小松まちづくり開発センター設置及び管理条例を廃止する条例について	委員会提出 議案第1号	西条市議会の個人情報の保護に関する条例について	原案可決	
議案第100号	令和4年度西条市一般会計補正予算(第9回)について	委員会提出 議案第2号	議会活性化特別委員会の設置について		
議案第101号	令和4年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)について	請願第21号	マイナンバー制度の利用拡大の中止を要請する意見書の提出を求める請願	不採択	
議案第102号	令和4年度西条市介護保険特別会計補正予算(第5回)について	請願第22号	学校給食の無償化を求める請願	承認	
議案第103号	令和4年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第2回)について		議員の派遣の承認について		

議員別議案等賛否一覧表

上表は議案などの審議結果ですが、下表には賛否が分かれた議案など(上表の青い網掛け部分)の状況を掲載しています。(現議員数28名)

議案等 (賛成：反対)	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		越智由美子	市川みどり	高橋淑子	森川亜紀	今井廣一	5 塩井雄大	7 三好和彦	8 高橋保充	9 佐々木充	10 眞鍋伸	11 城戸力	12 井上浩二	13 白坂均	14 西坂壽彦	15 藤井武彦	16 川又由美	17 佐伯利彦	18 坪井剛	19 高橋哲	20 伊藤新平	21 御庄秀樹	22 越智俊幸	23 藤田節雄	24 行元博	25 一色輝雄	26 楠學	27 武田功	28 伊藤孝司
議案第62号	26:1	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第81号	25:2	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	25:2	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第21号	3:24	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第22号	2:25	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

※ ○：議案などに対して賛成 ×：議案などに対して反対 ※ 武田 功議員は、議長職のため表決に加わりません。

手越島 真仁氏

越智智茂氏

柳智均氏

日和佐氏

山路春彦氏

越智廣勝氏

西条市壬生川財産区管理委員

高橋雄次氏

難波明広氏

岡田恵子氏

安藤雅康氏

高田正敏氏

職員懲戒審査委員会委員

武田治彦氏

杉野啓一氏

川原孝俊氏

佐伯哲也氏

固定資産評価審査委員会委員

篠原嘉明氏

公平委員会委員

福田亜弓氏

教育委員会委員

伊藤隆志氏

教育長

伊藤隆志氏

次のかたがたをそれぞれ任命することに同意しました。

教育長及び各種委員の任命

令和4年度補正予算(総額16億5,802万8千円)を可決

12月
定例会

令和4年第7回12月定例会は、11月29日から12月19日まで開催され、議案54件及び報告1件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。

また、議員12人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に4ページから9ページに掲載しています。



西条自民
クラブ

佐伯利彦 議員



(議案質疑)

1 ふるさと納税促進事業
について

(一般質問)

1 プール施設の在り方について

2 ごみステーションにおいて収集しないごみについて

3 コロナ禍における新しい避難の在り方について

ふるさと納税の

現状と動向は?

問

本市におけるふるさと納税促進事業について、予算を大幅に増額しているが、なぜ、増額して予算計上することになったのか。

また、ふるさと納税ポータルサイトを増やす考えはあるのか。

更に、人気のある返礼品の傾向などはあるのか。

加えて、昨年まで返礼品の上位であったビールが、アサヒビール四国工場の撤退でなくなると聞き及んだが、時期はいつなのか。

答

近年、全国的にふるさと納税制度の利用が普及・拡大していることに加え、本市として従前より継続的に行っているシティプロモーション、本年度より取り組み始めた地域の特産品の情報発信などにより、寄附金額は増加

傾向にあり、本市の令和4年10月末時点の実績は、寄附件数が2万1千287件、寄附金額が4億4千882万4千円となっている。

また、令和4年8月から、新たにふるさと納税ポータルサイト「ふるなび」にも掲載し、本市の特産品がより多くの人の目に触れる機会の創出を図ったことも寄附額増加の一因となっている。

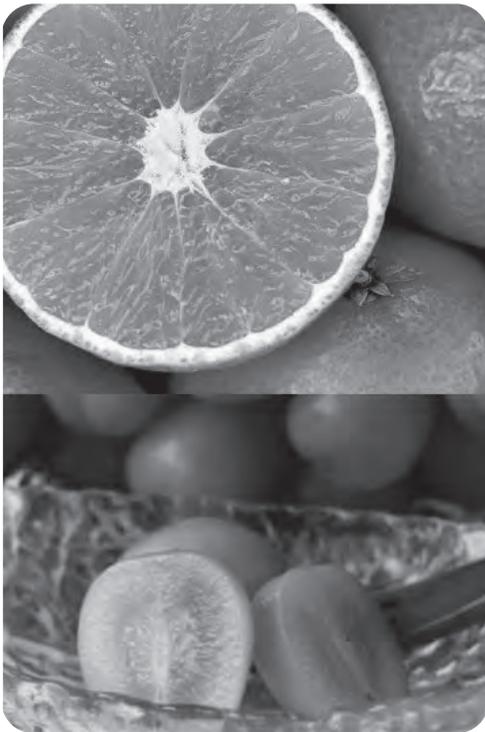
これらの状況を受け、今後も前年度までの傾向どおり寄附があった場合、本年度当初の寄附見込み額を上回る見込みとなったことから、返礼品などに係る事業費を増額するものである。

ポータルサイトの追加については、ニーズや傾向を勘案し、どのようなサイトを追加すべきなのかを引き続き研究したい。

返礼品の種類については、現時点において3つのふるさと納税ポータルサイトに掲載登録している返礼品が累計約1千600品となっており、主なものとしては、本市で生産・製造された農産物、海産物、酒類、雑貨・日用品類などである。また、選ばれる返礼品の傾向については、紅まどんなやシャインマスカットなどの果物類などの伸びが顕著である。

返礼品としてのアサヒビール製品の取り扱い、令和5年1月末でのアサヒビール四国工場の操業終了により、令和4年12月末をもって終了する予定となっている。

今後も、ふるさと納税に対する新たな返礼品の開発や本市の優れた特産品の情報発信をするなど、積極的な取組を行うことで、多くのかたに本市へ寄附をいただけるよう努めたい。



返礼品として人気のある果物類

高橋 保議員



- (一般質問)
- 1 ヤングケアラーについて
 - 2 2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)について
 - 3 学校給食の無償化について

早期発見に向けた取組を！

ヤングケアラー

問

国におけるヤングケアラー支援の在り方の議論や自治体による条例の制定、

メディアでの報道などによりヤングケアラーの認知度が向上する中、県は令和3年12月に、ヤングケアラー支援に向けた施策検討の基礎資料とするため、アンケート調査を実施し、実態調査に乗り出したが、市は、調査結果をどのように認識し、今後、どう取り組んでいくのか。

答

アンケート調査は、県内の全小・中・高等学校をはじめ、要保護児童対策地域協議会、福祉医療機関及び主任児童委員などを対象に実施され、調査結果からは、早期の情報提供・共有により、適切に関係機関につなげることが支援に向けた課題として挙げられた。その他の課題として、ヤングケアラーの定義が曖昧で、家庭内でのお手伝いレベルなのか判断しづらいこと、ヤングケアラーの認知度が低く、情報提供や相談につながらないことなども挙げられており、あらためて各分野における連携及び早期発見が課題であり、支援の難しさが認識された。



ヤングケアラー相談窓口に関するちらし

**学校給食無償化に
対する市の認識は？**

問

学校給食の無償化については、自治体の少子

化対策や移住促進など、地域活性化に一定の効果が見込めるものの、一方で、多額の予算の確保に伴う財政面の負担などの課題も多いことから、慎重に検討する必要がある。本市で学校給食の無償化を実施した場合、事業対象者や事業費はどの程度になると見込んでいるのか。

また、学校給食の無償化を実施することについて、どのように認識しているのか。

答

本市の学校給食の提供数は、令和4年5月1日現在、小・中学校の合計で6千484世帯、8千62人であり、学校給食費は1食当たり、小学校260円、中学校300円で、年間の給食実施日数は、小学校約185日、中学校約170日である。無償化の対象を全児童・生徒に拡大するためには、助成金額として、新たに年間約3億6千万円が必要になると見込んでいる。



安全・安心で栄養バランスの取れたおいしい給食を！

本市における学校給食費の助成については、地産地消や食育などを推進する観点から、地元産の食材購入などに係る経費への補助金として年間約520万円、また、令和4年は別途、給食食材の高騰などに対応した補助金として、7月以降の学校給食に1食当たり30円、年間約3千570万円を助成し、学校給食の充実を図っている。

本年度においては、これら本市独自の助成事業により、児童・生徒へ安全・安心で栄養バランスの取れたおいしい学校給食の提供を維持できているが、次年度以降は、現在の学校給食費では物価高騰による食材費上昇などに対応できず、良質な学校給食の提供が困難となる見通しであり、西条市学校給食会で、学校給食費の値上げについて慎重に協議を進めている。

経済的理由で配慮を要する家庭に対しては、就学援助制度などにより学校給食費の全額扶助が行われており、学校給食費については、市と保護者との協力により、学校給食の円滑な実施を行う学校給食法の趣旨に基づき、これまでどおり保護者負担したいと考えている。

塩崎雄大議員



- (一般質問)
- 1 スポーツ振興について
 - 2 市職員の働き方改革について

今後の在り方は？

中学校の部活動

問

少子化の進展、デジタル機器の普及やコロナ禍により、スポーツをする子どもが激減している中、中学校の運動部活動の状況はどのようなになっているのか。

また、全国的に、部活動を担当する教員がいけないことなどが原因で、所属したい部活動が学校にないなどの状況に陥っていることから、スポーツ庁からは、運動部活動を民間のクラブチームや外部指導者に委ねる地域移行を、令和5年度から令和7年度をめぐり段階的に行うよう提言され

ているが、地域移行の推進はどのような効果をもたらすと考えているのか。

更に、地域移行は教員の負担軽減も大きな目的とされているが、部活動中に事故が起こった場合の責任の所在などさまざまな課題が懸念されている。想定される課題や今後のスケジュールについて、どのように認識しているのか。

加えて、地域移行は、生徒、保護者、教員、地域社会を大きく巻き込むことになるため、まちづくりの一環として捉える考えも示されているが、市はどのような地域支援を考えているのか。

答

本年度の中学校運動部活動の状況については、

中学校総合体育大会などで、野球、サッカー、ソフトボールでそれぞれ1チームが合同チームとして出場している。

地域移行により期待される効果としては、少子化の中でも将来にわたり子どもたちがスポーツに親しむ機会を確保できるとともに、技術面において専門的な指導を受ける機会を得られることが想定でき、生徒にとって有意義な活動になると考える。また、教員の負担が軽減されることで、授業の準備などに時間を充てられるようになり、学校教育の



中学校での部活動の様子

質の向上につながると考える。

地域移行に伴う課題としては、生徒の指導に適した専門性や資質を有する指導者の確保が容易でないことや、休日は外部の指導者が部活動を指導することになるため、休日に実施されることが多い練習試合や遠征などが難しくなることなどが考えられる。今後のスケジュールとしては、本年度中に検討委員会の設置を検討しており、他市とも情報共有を行いながら、令和7年度末をめどに運動部活動の地域移行を進めたい。

部活動の地域移行は、国のガイドラインに従い、運動部活動だけでなく、文化部活動についても一体的に進めていく必要があると認識している。地域支援を推進するためには、地域の実態把握とともに各学校、保護者などの意見集約による意思統一が必要不可欠であると考えており、その結果、地域ごとで支援内容は変わると思われることから、今後も国の動向や先進事例の情報収集を行い、地域のニーズに沿ったスポーツ及び文化の環境作りを研究したい。

自民クラブ

井上浩二議員



- (一般質問)
- 1 家庭系ごみの有料化について
 - 2 サッカー場の整備について

制度の周知推進を！

問

令和5年4月から始めるごみの減量化に関しては、広報などでの周知に併せて、広報などでの周知に併せて、出前講座での積極的な周知が重要と考えるが、市は出前講座について、どのように考えているのか。

また、市民の理解を深めるために、ごみの分別・出し方を分かりやすくまとめたガイドブックを作成し、全戸配付する考えはないのか。



出前講座の様子

答

新たなごみの減量に向けた施策の円滑な実施には、市民のじゅうぶんな理解と協力が不可欠であるため、広報紙などの周知に加え、動画配信やパネル展示、ちらし配布なども行っている。

出前講座については、自治会単位でごみ問題について話し合うことが最も有効であるとの認識から、連合自治会などの役員会で出前講座の案内を行っており、また、公民館でも利用者などに案内してもらおうよう協力を依頼している。ガイドブックについては、令和5年2月広報の配付時に保存版家庭ごみ分別ガイドブックを全戸配付する予定であり、令和2年度に導入したスマートフォンアプリ「さんあくる」を含め、有効に活用していただきたいと考えている。

違法ごみへの対応は？

問

粗大ごみの戸別収集により便利になる一方で、有料化による不法投棄の増加が心配される。対策として、危険な道路などの状況を市民がLINEで通報する西条市道路・公園等異常通報システムを参考にし、不法投棄通報システムを構築する考えはないのか。

また、ルール違反により収集されずごみステーションに残ったごみや市道の枯れ葉などを片づけるため、自治会が指定ごみ袋を使用することから、自治会へ指定ごみ袋を無料配付する考えはないのか。

答

不法投棄通報システムの導入により、監視強化、情報蓄積などが可能となり、早期発見による拡大防止効果も見込まれるが、本来は不法投棄された土地の所有者又は管理者の責任で処理し、再発防止策を講じる必要がある。併せて、不法投棄行為者の特定は警察などの関係機関との連携が必要であるため、システムの導入、特にその運



用については、先進事例を参考に慎重に検討したい。

また、違反ごみなどで自治会などが苦勞されていることは承知しており、来年度以降も、自治会などへは一定数無料指定ごみ袋を配る方向で検討している。

混雑対策は？

道前クリーンセンター

問

粗大ごみ処理券の有効期限が令和5年3月末であるため、処理券を使い切ろうと、3月には道前クリーンセンターへの粗大ごみの搬入が増え、道路の混雑が予想される。対策を講じておく必要があると思うが、市はどのように考えているのか。

答

有料化前に粗大ごみ処理券を使い切るため、ごみステーションへの排出や道前クリーンセンターへの直接搬入をするかたが一定数いると思われることから、年度末にかけて例年以上に混雑することを想定している。

対策として、現在短縮している搬入時間を令和5年1月末から午前中30分間延長することとしている。

また、直接搬入する際のごみの重量に応じた手数料は、指定ごみ袋有料化後も変更しないことを広報紙などで周知し、搬入の分散化を図りたい。加えて、現場では場内の誘導整理を適切に行うことで混雑の緩和を図り、敷地外に順番待ちの車が出ないよう交通安全にも努めたい。



年度末に道路の混雑が予想される

西条みらい
クラブ

真鍋 頭 伸 議員



(一般質問)
1 森林環境譲与税を原資とする森林整備基金について

基金の有効活用を！

問

令和6年度から国税として森林環境税が創設され、市への譲与税の増額が見込まれる。本市には譲与税を原資とした西条市森林整備基金があるが、当該基金の残高及び今後の譲与額をどの程度と見込んでいるのか。

また、基金を活用した森林整備の実施状況と計画はどうなっているのか。

更に、国土調査へ活用するよう要望する考えはないのか。

答

基金残高は、令和2年度の譲与額が倍増したことや令和2年度に計画していた水源の森整備事業が翌年度に繰り越しとなったことで残高が積み上がり、令和3年度末で約1億1千万円となっている。今後の譲与額は、令和4・5年度は約7千300万円、令和6年度以降は約8千800万円を見込んでいる。

森林整備は、令和3年度当初予定していた整備面積120ヘクタール、事業費6千万円が、担い手不足などにより整備面積48・2ヘクタール、事業費1千711万6千円に変更となった。最終的には21・9ヘクタール、事業費729万円が令和4年度に繰り越され、多くの不用額が生じている。

令和7年度以降の森林整備は、西条市森林整備基金活用検討会で協議し、関係団体の意見も聞きながら、整備目標を設定し、計画内容を第3期西条市総合計画に反映したい。

国土調査の事業費は、ほぼ補助金で賄われており、現状その方法が最適と考えるが、今後、譲与税の活用については、関係機関と協議したい。

佐々木

充議員



(一般質問)
1 リカレント教育の促進について

**社会情勢に適應できる
人材育成支援を！**

問

労働人口減少やコロナ禍における社会構造の変化に対応するため、リカレント教育の推進が重要と考える。リカレント教育とその推進により期待される効果について、どのように認識しているのか。また、市独自の施策の実施について、どのように考えているのか。

答

リカレント教育とは、学校教育から離れた後も、仕事に生かすために再び教育を受け、仕事と教育を繰り返すことである。事業者側は、従業員の知識やスキルが

向上し生産性の向上につながる。労働者側は、多様な働き方が選択可能になることが期待される。本市では、基盤産業である製造業の人材育成に係る補助金の支出や、愛媛大学と連携し、地域を牽引する人材育成などを行っており、今後も取組の周知・展開をしながら、時代に即した人材育成の動向について情報収集に努めたい。

**公明党
西条市議員団**

城戸 力議員



(議案質疑)

1 生活保護一般管理費について

(一般質問)

1 小・中学校におけるがん教育について

2 糖尿病予防について

**子どもたちに
がんの正しい知識を！**

問

がん教育は、近年、学習指導要領に明記され、中学校や高等学校では既に全面実施されている。

また、国はがん教育の充実を図るため、医師などの外部講師の活用を勧めているが、本市における小・中学校のがん教育をどのように認識し、どのように行っているのか。

答

本市においては、令和3年4月に西条市がん対策推進条例を制定し総合的ながん対策を推進しており、がん教育は、自分自身や家族の命を守りたいせつな教育の一つであると認識している。

県では、がん教育の普及のため、がん教育総合支援事業として県内の小・中学校を対象に外部講師活用研修会を開催しており、本市からも関係教員が参加している。

本市においては、小学校の保健の学習や中学校の保健体育科の学習の中で、教科書の内容を中心に教員によるがん教育を実施している。

高橋 淑子議員



(一般質問)
1 コミュニティ・スクールにおける福祉教育の推進について

2 学校教育における子ども心のサポートについて
3 本庁における男性用トイレへのサニタリーボックスについて

男性用トイレにも配慮を！

問

尿漏れパッドや紙おむつが捨てられるよう、男性用トイレにもサニタリーボックスを設置する考えはないのか。

答

まずは、公共施設の多目的トイレ全てにサニタリーボックスを設置し、安心して多目的トイレを利用できるようにしたい。

会派に
属さない議員

伊藤 新平 議員



(一般質問)
1 消防におけるドローンを活用した防災・減災対策について

ドローンの
運用体制強化を！

問 ドローンは、災害時などに人的災害リスクを最小限に抑えるためにも有効である。消防庁が推奨する性能を備えたドローン導入についてどのように考えているのか。また、操縦者の育成状況はどのようになっているのか。

答 現在、本市消防が真に必要なとする機能を有したドローンの基準を明確化し、

導入に向けた調査・研究を進めている。

操縦者の育成については、現在5人が操縦技術の向上に努めている。今後も継続的に新たな操縦者を育成することで、ドローンの安全・確実な運用体制の強化に努めたい。

高橋 章 哲 議員



(一般質問)
1 シングルマザーへの支援について

増額を要望する考えは？
児童扶養手当

問 令和4年4月以降の児童扶養手当の月額、全部支給の児童1人の場合は4万3千70円、2人目の加算額は1万170円、3人目以降の加算額は1人当たり6千100円であるが、国に対し増額支給を要望する考えはないのか。

答

現段階では自立の促進を趣旨とする国の児童扶養手当の支給額は適正であり、増額支給を国に働きかけることは考えていない。本市としては、臨時的な対応であるが、一般の原油価格等高騰対策事業として、子育て世帯全体への支援を行うなど対処しており、今後も、国の動向及び社会情勢を注視しながら迅速かつ適切に対応したいと考えている。

市川 みどり 議員



(一般質問)
1 新型コロナウイルスワクチン接種について
2 地下水の保全について

慎重な判断のために
正しい情報提供を！

問 自治体によっては、子どものワクチン接種券

の送付を希望者による申し込み制にしている。慎重な判断を促すため、本市も同様の対応とする考えはないのか。
また、市民のワクチン接種回数、感染率、重症化率を情報提供する考えはないのか。

答

本市では、家庭内感染が多かったことなどから、希望者に早急な接種機会を提供するため、対象者全員に随時接種券を送付している。情報提供については、接種について考えていただくため、公表データを基にワクチンの効果を見える化したちらしを作成し、全戸配付している。

越智 由美子 議員



(一般質問)
1 インボイス制度への対応について

異議あり！インボイス制度

問

インボイス制度について、全国的に、制度の中止・延期を求める声も多々ある中、一部の自治体では、入札参加資格申請の際、適格請求書発行事業者の登録を求める事例もある。これは、小規模事業者など免税事業者を切り捨てる許されない行為であるが、本市の対応はどうか。

答

適格請求書発行事業者でない者を入札に参加させない取り扱い、総務省において、適当でないとの見解が示されている。

本市においても、この取り扱いが適当でないと考えており、ホームページにて周知している。また、令和5年度6年度の入札参加資格申請では、登録確認を行わないこととしている。

令和4年度
議会報告会

常任委員会の報告動画を配信しています。皆様、ぜひご覧ください！



総務委員会・分科会での主なQ&A

12/8開催
付託議案11件
請 願 1件

西条市職員の定年等に関する
条例等の一部を改正する等の
条例について

Q 定年年齢を引き上げ中、
新規採用職員数については
どのように考えているのか？

A 令和4年度末に策定予定の
職員採用計画を基に、職員
の年齢構成などを考慮しながら
一定数採用していくこととして
いる。



未来へバトンをつなぐのは君だ

令和5年4月1日採用予定
愛媛県西条市職員採用試験 5/10(水)～5/27(金)

令和4年度の職員採用募集広報

西条市ひと・夢・未来
創造拠点複合施設に関する
所管事務調査

総務委員会では、令和4年3
月17日の委員会、西条市ひ
と・夢・未来創造拠点複合施設
について、所管事務調査を行
うことを決定し、3回にわた
り、調査を行ってきた。調査で
は、運営状況や利用実績、施設
の取組事項などについて、所管
部署から資料の提出と報告を受
け、指定管理者制度を活用した
施設運営や市・指定管理者・入
居団体など関係団体の連携・連
絡体制の状況を確認してきた。
12月8日の委員会では委員間
討議を行い、指定管理者による
施設運営について、おおむね良
好であるとの意見の一致をみた。
よって、12月19日の本会議に
おいて、これまでの調査内容に
ついて報告を行うとともに、今
後も当該施設においては、所期
の目的の達成に向け、課題解
決・創意工夫に取り組まれるよ
う要望し、調査を終了した。

福祉文教委員会・分科会での主なQ&A

12/9開催
付託議案 6件
請 願 1件

債務負担行為
(仮称)東部給食センター整備・
運営事業(PFI事業)

Q PFI事業方式と市の直轄
事業方式、それぞれの事業
費見込み額は？

A PFI事業方式では約62億
円、市の直轄事業方式では
約68億円の事業費が掛かると試
算しており、PFI事業方式の
ほうが約6億円のメリットがあ
る。

Q 財政負担の軽減のため、工
事の実態に合わせ支払う方
法もあるが、年度ごとの支払額
についてどう考えているのか？

A 今回のPFI事業では施設
完成後に引き渡しを受け、
所有権移転した時点で対価を支
払うことになっている。所有権
移転後には、国の交付金や合併
特例債を一括して申請すること
としているため、令和6年度に
施設整備費を支払う予定である。

Q 施設の完成時期は？

A 令和5年7月頃から基本設
計に着手し、本体工事は令
和7年3月の完成を予定してい
る。
その後、同年8月まで、調理
員の研修やリハールなど、開
業に伴う準備期間を設定してい
る。



(仮称)東部給食センターの外観イメージ



本庁で対応するフロアマネージャー

Q 業務内容と期待される効果は？

A マイナンバーカードの各種普及促進施策により申請数が増加し、現在、窓口が非常に混雑しているが、令和5年1月以降もこうした状況が続く可能性があることから、来庁者に関係手続きの事前説明などを行うフロアマネージャーを本庁と西部支所に配置するものである。今回、フロアマネージャーを増員し配置することで、窓口での手続きが円滑化され、来庁者の負担軽減につながると考えている。

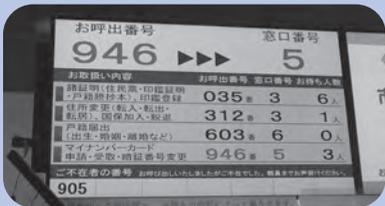
マイナンバーカード
申請支援等業務委託料

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

12/9開催

付託議案 2件

本庁市民課の受付呼び出し
状況をライブ配信中！



※西部支所市民福祉課は令和5年2月にライブ配信開始予定です。



Q マイナンバーカードを申請できる場所が本庁及び西部支所に限られていることや窓口の混雑などに対して、市民から不満の声がある中、今後、申請されるかたの利便性はじゅうぶんに図られるのか？

A フロアマネージャーの増員だけでは、手続きの大幅な時間短縮を図ることは困難であるが、これまで同様、出張申請受付や状況に応じた窓口の時間延長、臨時開庁などを実施することで、可能な限り申請者の利便性向上を図っていきたい。

Q 今後の情報発信は？

A 掲載サイトを増やすことでより多くのかたに見ていただける機会が増えると認識しているが、これまでも紅まどんななどの人気のある農産物については、品切れになる場合が多々見受けられたことから、返礼品の在庫確保にも努めつつ、掲載サイトを増やすことについて調査・研究を進めていきたい。

ふるさと納税促進事業

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

12/8開催

付託議案 9件

債務負担行為
(本谷温泉事業特別会計)

Q 指定管理委託料は指定管理者の理解を得た上で積算しているのか？

A 指定管理者と市が共通の認識を持った上で指定管理委託料の限度額を設定しており、積算内容についても、じゅうぶんに理解していただいている。

西条市小松まちづくり
開発センター設置及び管理
条例を廃止する条例について



用途廃止される西条市小松まちづくり開発センター

Q 用途廃止後の跡地利用は？

A 公共施設等マネジメント検討会議において協議したが、庁内での利活用の要望はなかったことから、令和5年度に、測量やアスベスト調査などの予算を計上した上で、売却に向け、担当課と協議しながら進めたい。

「総務大臣感謝状」受賞

令和4年10月24日、令和4年度都道府県議会議員及び市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式において、伊藤孝司議員が地方自治の発展に顕著な功績があった者として、総務大臣感謝状を受賞されました。

同氏は、昭和62年に西條市議会議員として初当選され、新市施行後、現在に至るまで35年の長きにわたり、住民福祉の向上に尽くされ、市議会議員としてその重責を果たし、西條市の市政発展に大きく貢



伊藤 孝司 議員

献されてきました。その間、議長、副議長、議会運営委員会委員長などの数多くの要職を歴任し、地方自治の振興・発展に献身的に取り組みされており、現在も精力的に活動されています。

議会活性化特別委員会を設置

12月定例会最終日の令和4年12月19日、より市民に開かれた議会を目指すため、現行の議会運営の検証に加え、議会の活性化を図るべき事項について、引き続き調査・研究を行うため、議会活性化特別委員会が新たに設置され、次の10人の委員が選任されました。

委員長	越智 一色 輝雄
副委員長	高橋 俊幸
委員	三好 和彦
委員	西坂 壽彦
委員	藤井 武剛
委員	坪井 章樹
委員	高橋 秀博
委員	高橋 元秀
委員	御庄 秀博
委員	行元 博

西条農業高等学校作品展を開催しました！

令和4年12月5日から令和5年1月27日までの間、議会フロアにおいて西条農業高等学校の生徒による作品展を開催しました。

研究成果であるパネルなどを多数展示し、期間中、多くのかたにご来場いただきました。



議場コンサートを開催しました！

～動画配信もぜひご覧ください～

令和4年12月16日、議場において西条南中学校合唱部による議場コンサートを開催しました。

ふだんは厳かな雰囲気が漂う議場が、女声合唱のすばらしい歌声により、華やかな雰囲気に包まれました。



編集後記

この冬は、厳しい寒さになりました。

立春には「寒の明け」、「暦の上では春」とニュースなどにもなりますが、現代人の私たちは、まだまだ寒さに震える日々です。

それもそのはず、2月を表す「如月」の語源は、厳しい寒さに備え重ね着をするという「衣更着」であるとも言われます。昔も今も、寒さに変わりはなかったのですね。重ね着した衣服が薄くなるごとに、春の訪れを感じるのでしょうか。



市議会だより編集委員会

委員長	一色 輝雄
副委員長	坪井 力剛
委員	城戸 章
委員	高橋 新平
委員	伊藤 秀樹
委員	御庄 俊幸
委員	越智 元節
委員	藤田 博
委員	行元 博
委員	楠元 博

